

2025年度 高崎高等学校アメリカ研修報告書（10日目）

2025年7月22日

10日目スケジュール

- 06:00-07:50 朝食
- 08:10 出発
- 09:00 ケネディ宇宙センター到着
- 09:30 植物博士ルーク氏による講演
- 13:00 KSC バスツアー
- 17:30 夕食
- 19:00 ホテル帰着



ケネディ宇宙センター

本日の研修は、実質的に今回のプログラムの最終日となりました。そんな日の朝、高校野球群馬大会で高崎高等学校が21年ぶりにベスト4へ進出したという嬉しいニュースが飛び込み、海外研修のメンバーも朝から歓喜に沸きました。気分が高まる中、生徒たちは昨日の講演で得た知見を、実際の展示や見学を通じてさらに深める一日となりました。

ケネディ宇宙センターに到着した生徒たちに、まず植物学者のルーク氏による講演が行われ、「宇宙空間での食の課題と植物の可能性」というテーマのもと、宇宙飛行士の健康維持や、持続可能な宇宙生活に関する興味深いお話を伺いました。宇宙での栽培技術や宇宙食の工夫について、具体例を交えて紹介され、生徒たちの関心を大いに引きつけていました。もちろん、講演はすべて英語で行われましたが、すでに“英語脳”になりつつある生徒たちは内容をしっかりと理解し、積極的に質問する姿も見られました。

その後は、スペースシャトル「アトランティス」の実機展示館を見学。宇宙でのミッションを終えた本物のシャトルを目の当たりにし、宇宙飛行士の生活や作業環境について、より具体的なイメージを持つことができました。船外活動に使われるロボットアームや狭い居住空間、トイレや寝室といった設備の工夫から、宇宙での生活の厳しさや創意工夫に、生徒たちは深い関心を寄せていました。

昼食後はギフトショップでショッピングを楽しみ、午後からはバスツアーに出発。今年は新たに整備された「L39展望台」から発射台や周辺施設を一望でき、宇宙開発のスケールの大きさを肌で感じることができました。その後、スペースXのスターシップ製造サイトや、NASAを象徴する施設であるVAB（ビークル組立棟）の前では記念撮影も行いました。この区域は条件がそろわないと入れない区域ですが、今回は目の前に近づくことができ、アルテミス計画でまさに月と火星への入口となる象徴的なエリアに、多くの生徒が感動していました。

最後に訪れたのは、アポロ・サターンVセンターです。人類初の月面着陸を支えた巨大なサターンVロケットをはじめ、当時使用された宇宙服や月面走行車などの展示を見学し、アメリカの宇宙開発の歴史を改めて学ぶ貴重な機会となりました。隣接する宇宙飛行士記念館では、命をかけて宇宙に挑んだ人々の軌跡に、静かな敬意を捧げるひとときとな

りました。

夕食は中華料理のbuffetレストランにて。寿司をはじめ日本食も提供されており、夢中になっておかわりをする生徒も見られました。そしてこの夕食中、まさに奇跡のような出来事が起こります。昨日、打ち上げ予定だったスペースX社のロケットがトラブルにより延期となっていたのですが、本日ついに打ち上げが決定。食事中にその情報が入り、生徒たちは急いで外へ出て、打ち上げの瞬間を全員で目撃するという、非常に貴重な経験をすることができました。轟音とともに空へ舞い上がるロケットに、生徒たちは歓声を上げながら、その迫力と感動に目を輝かせていました。

ホテルに向かうバスの中では、研修が実質的に終了してしまうことへの名残惜しさを語る生徒や、「まだアメリカに居たい」と話す生徒など、さまざまな思いが交錯していました。また、この2日間、熱意あるガイドをしてくださったジェイさんからは、「今回のNASA訪問で航空宇宙分野に興味を持った子もそうでない子も、自分が興味を持ったことには、何事もあきらめず挑戦し続けてほしい」という、心に残る励ましの言葉をいただきました。その言葉を胸に刻みながら、翌早朝の出発に備えて、生徒たちはそれぞれ早めに荷物の整理や準備を済ませ、就寝となりました。

以上、研修10日目のご報告です。



ケネディ宇宙センター 到着



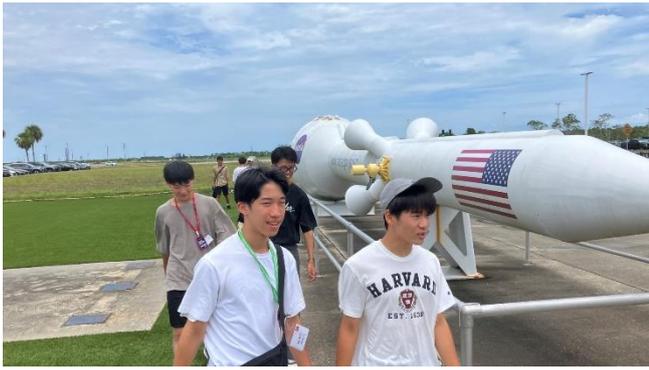
ルーク・ファンテイン氏による講演



アトランティス号実機



世界一大きい一階建て建築物 VAB



歴代のロケットなどが多数展示



航空宇宙分野での日本技術の活躍も学びました



見上げるその先にあるのは・・・
アトランティス号ブースターのレプリカです。



昨日打ち上げ延期となったスペース X 社ファルコン 9 が本日打ち上げへ 皆で観測